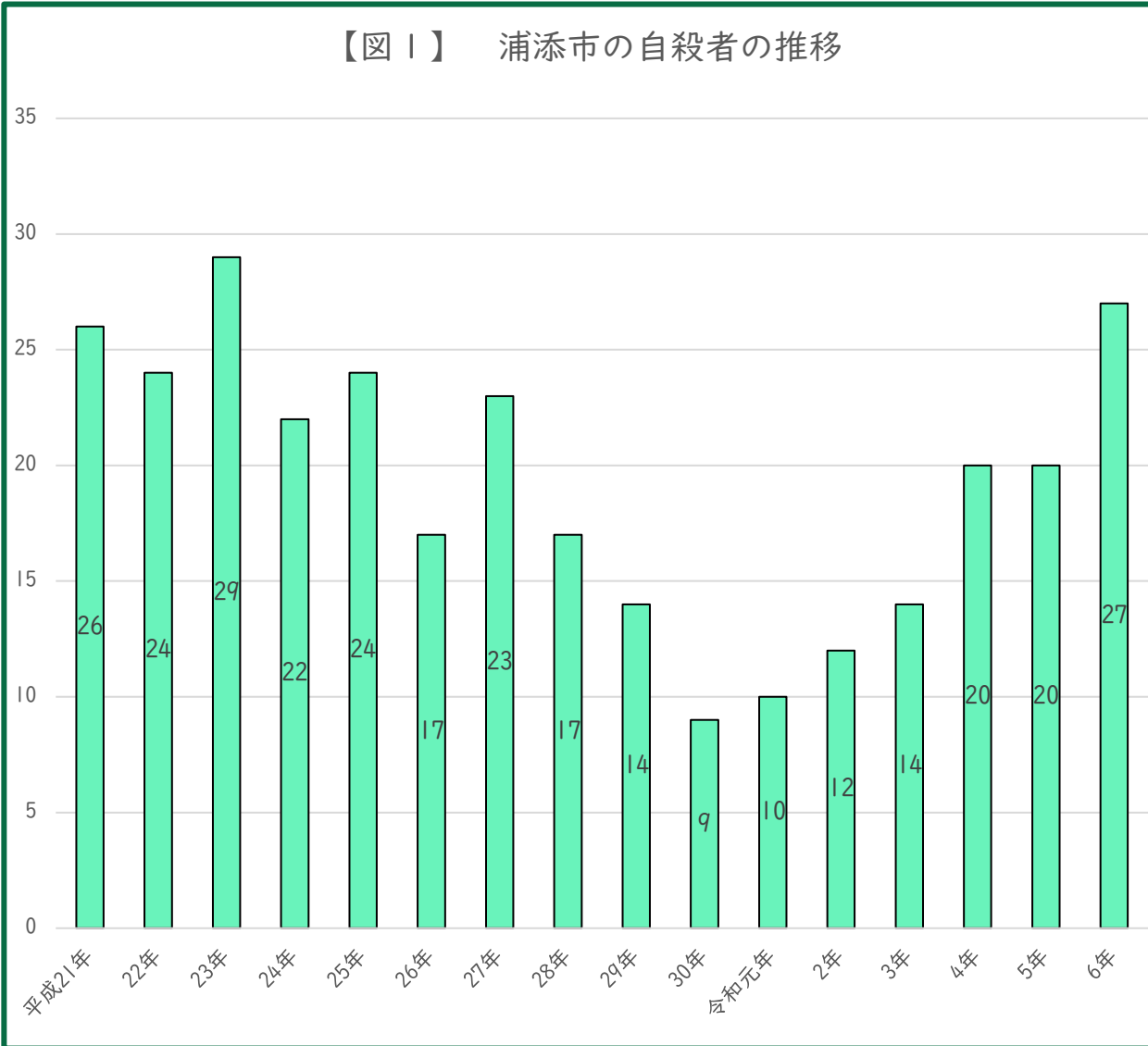


1. 自殺者数・自殺死亡率

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図1】 浦添市の自殺者の推移



過去5年間平均

18.6人

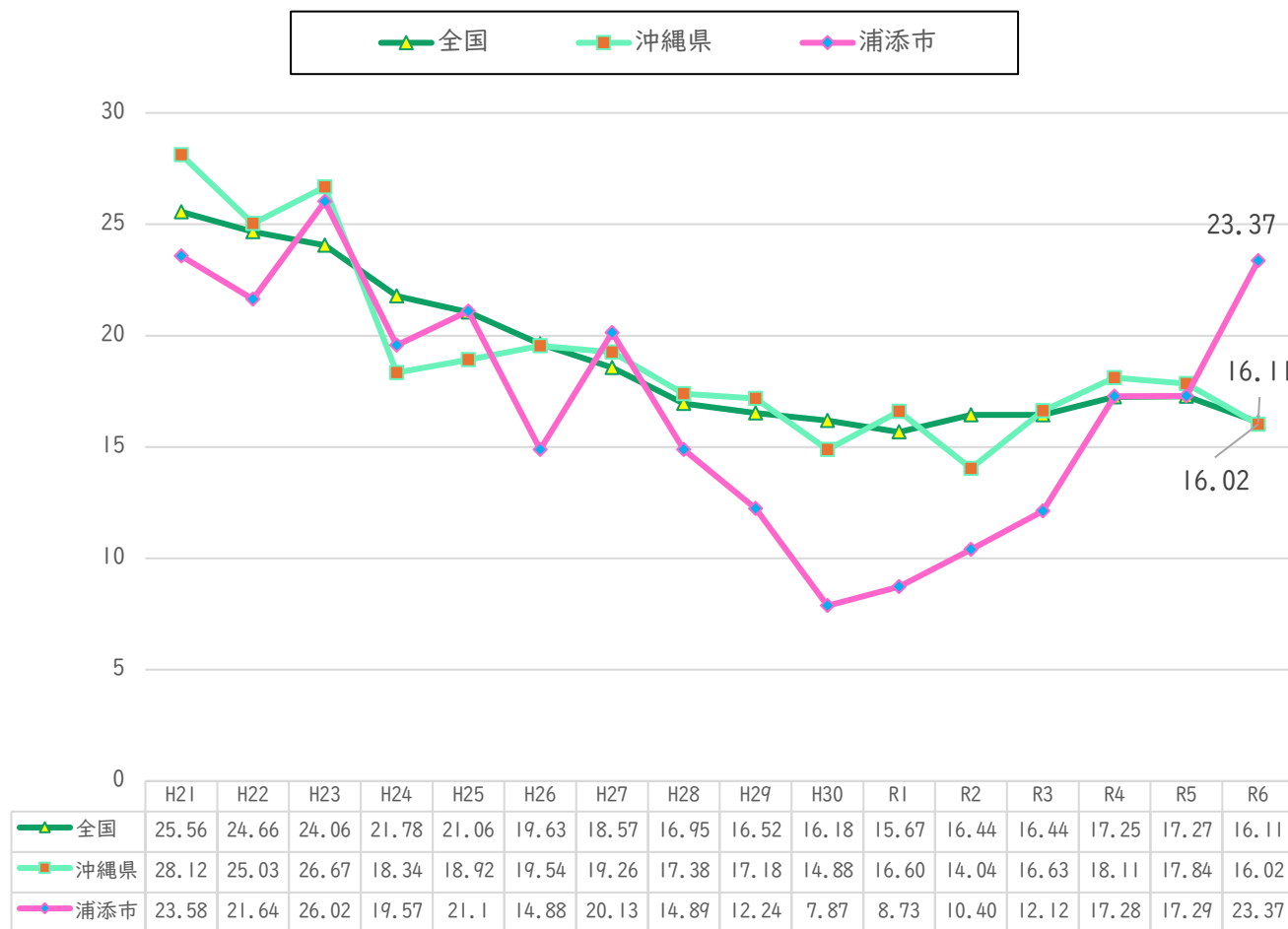
(令和2年～令和6年)

令和元年以降増加し、令和4年以降では3年連続で20人以上の方が自殺で亡くなっている。

1. 自殺者数・自殺死亡率

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図2】自殺死亡率の推移（比較）



令和6年
浦添市の自殺死亡率

23.37

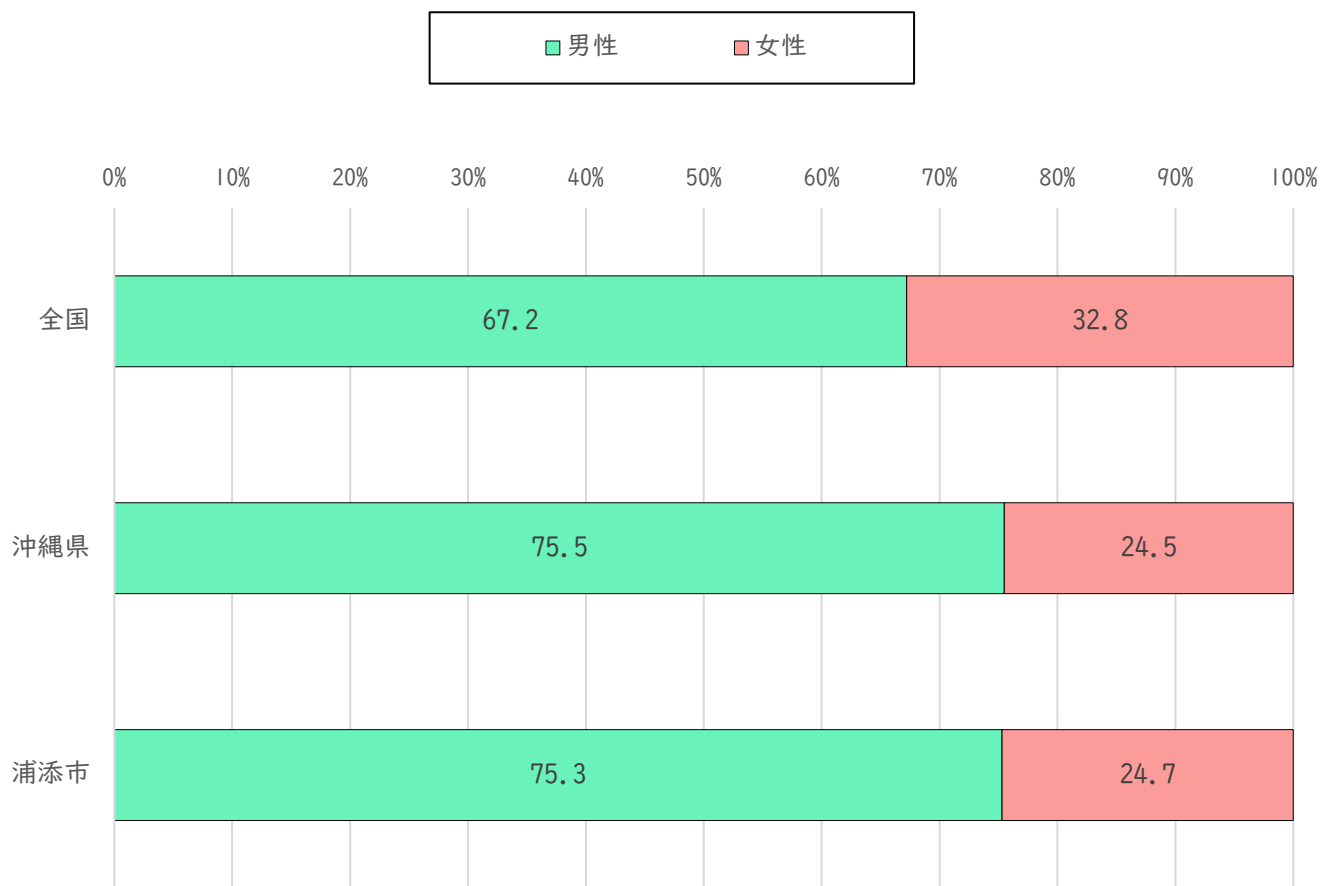
*自殺死亡率
人口10万人あたりの自殺者数

自殺死亡率を国、県と比較すると、令和6年は大きく上回る結果となっている。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図3】自殺者の性別構成比（比較）



男性
75.3%

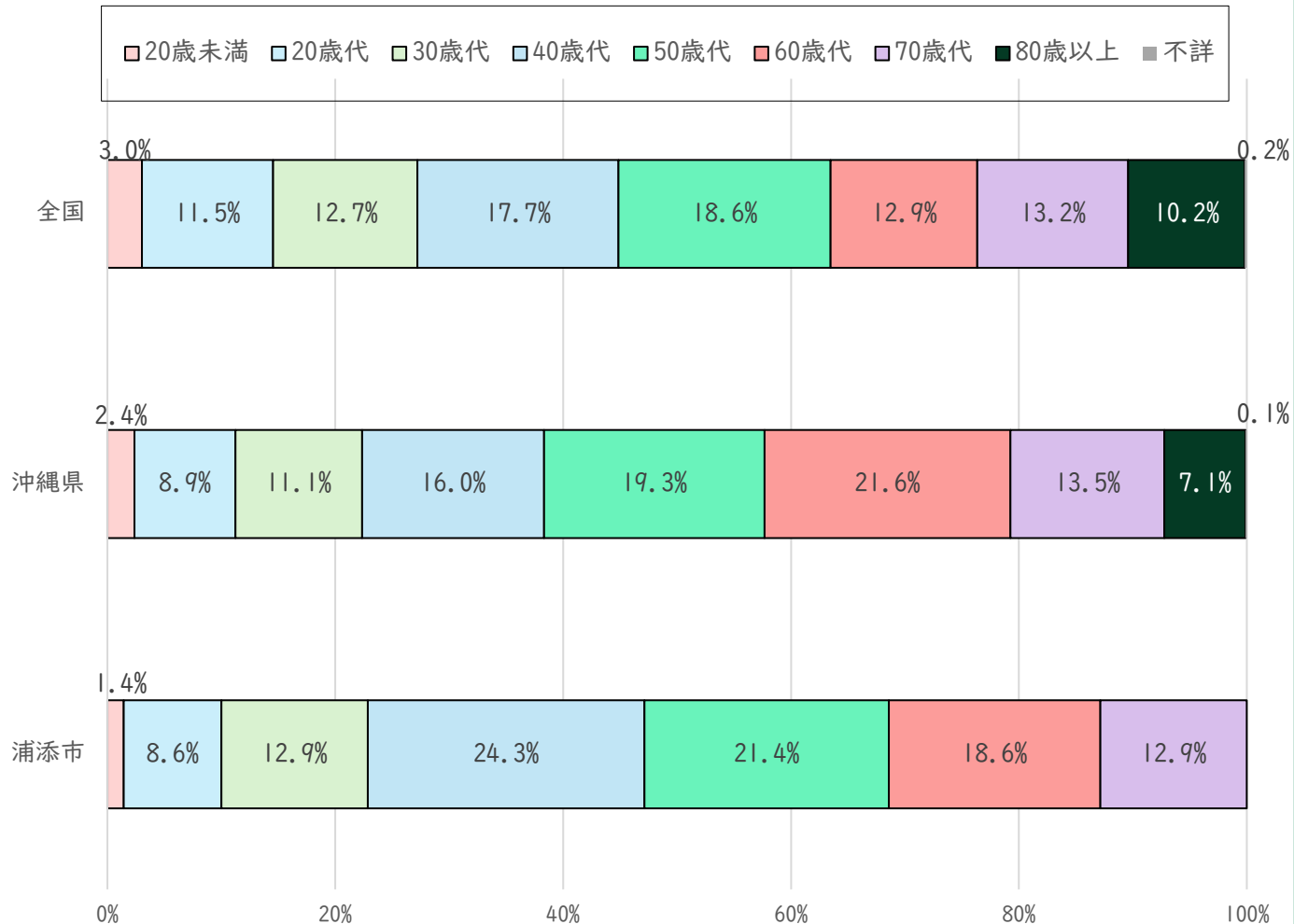


女性
24.7%

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図4】男性自殺者の年代別構成比（比較）



男性

割合が高い年代

1. 40代 24.3%
2. 50代 21.4%
3. 60代 18.6%

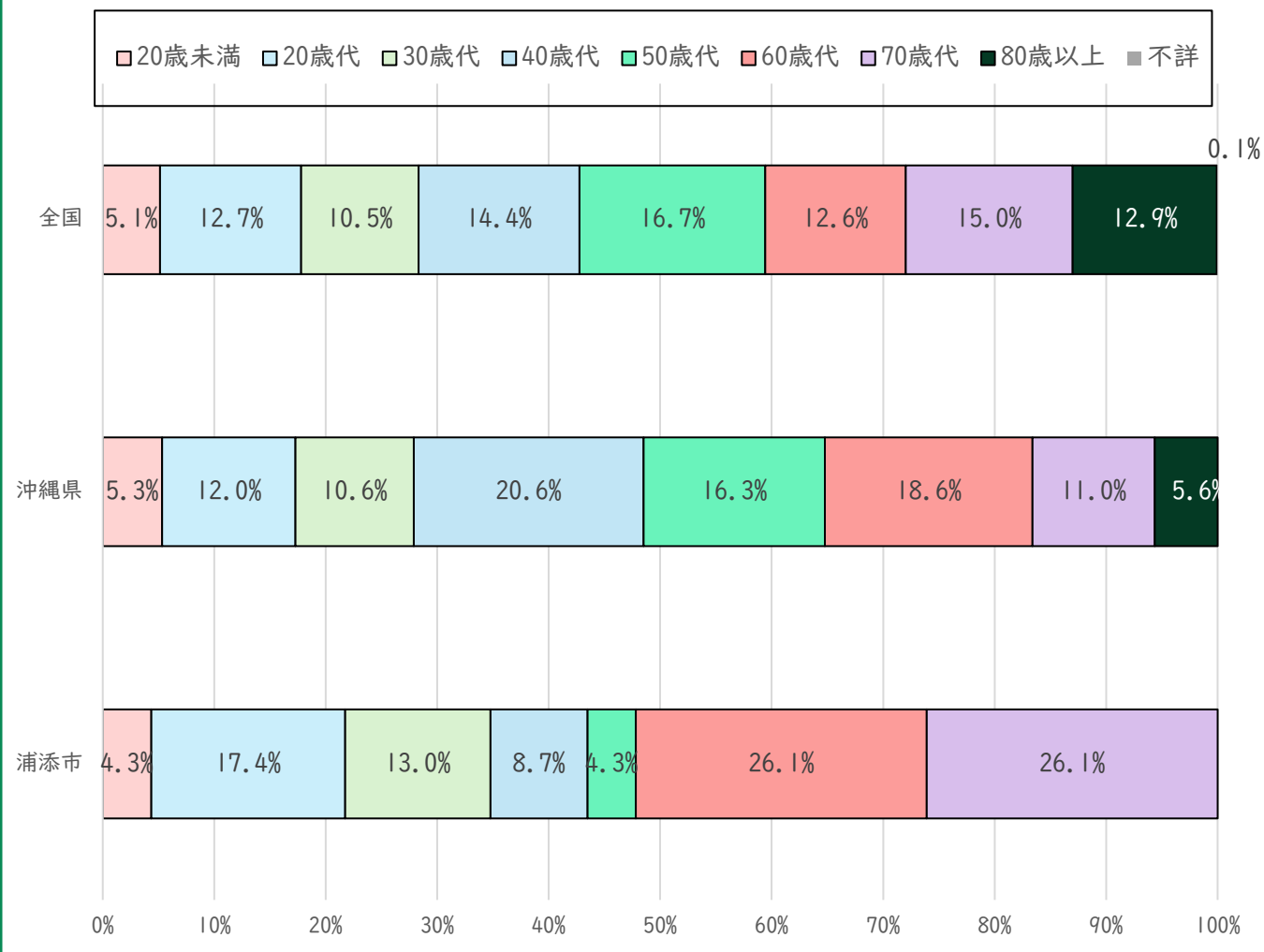


男性自殺者は、40～60代が64.3%を占めており、国、県と比較するとその割合が高い。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図5】女性自殺者の年代別構成比（比較）



女性

割合が高い年代

1. 60代 26.1%

70代 26.1%

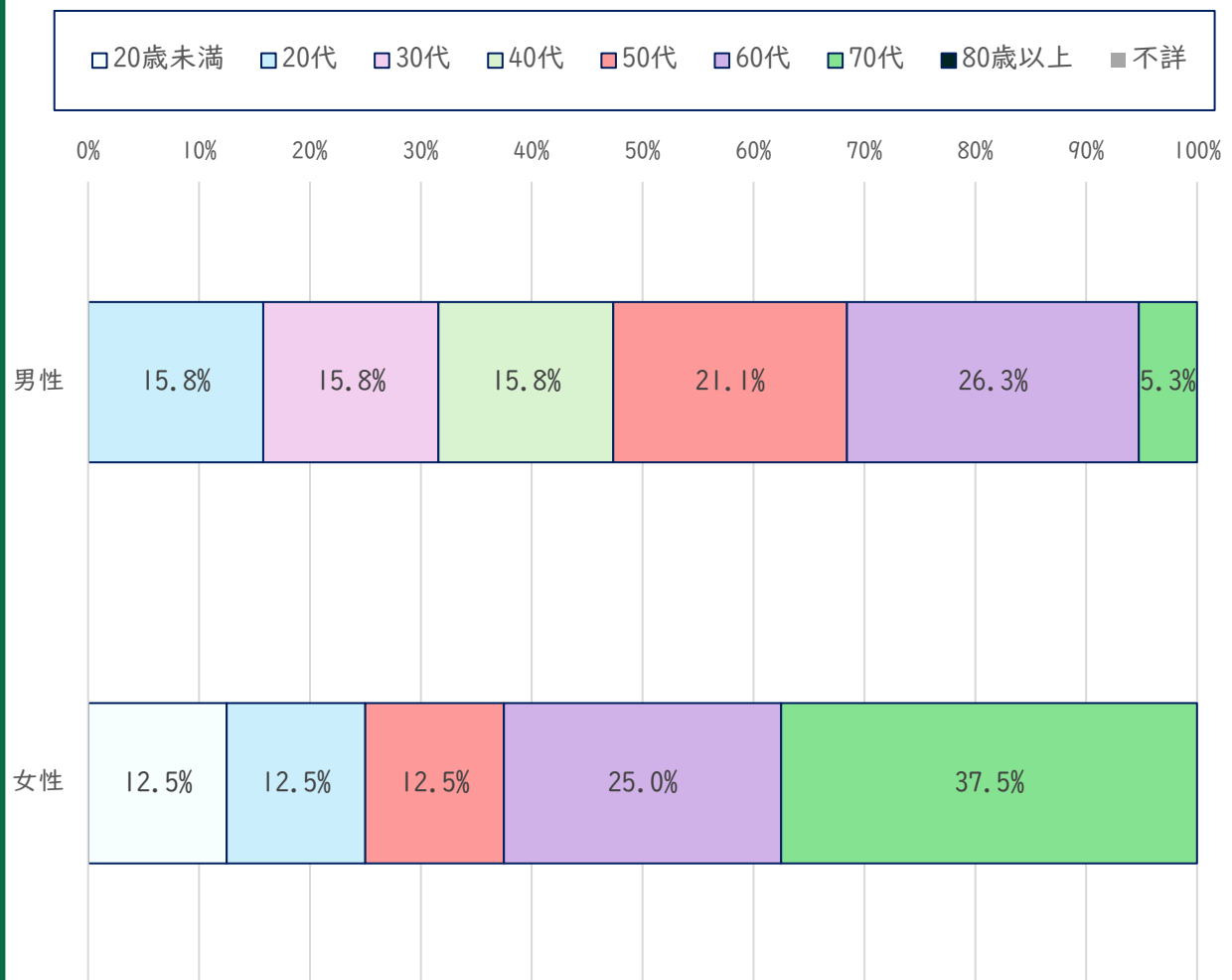
3. 20代 17.4%

女性自殺者は、60～70代が52.2%を占めており、国、県と比較するとその割合が高い。
また、20～30代で3割以上となっており、国、県より高い。

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図6】令和6年自殺者の年代別構成比



浦添市における自殺者数 前年との比較

男性



	令和5年	令和6年	増減
20歳未満	0	0	－
20代	1	3	＋2
30代	2	3	＋1
40代	2	3	＋1
50代	5	4	－1
60代	4	5	＋1
70代	2	1	－1

女性

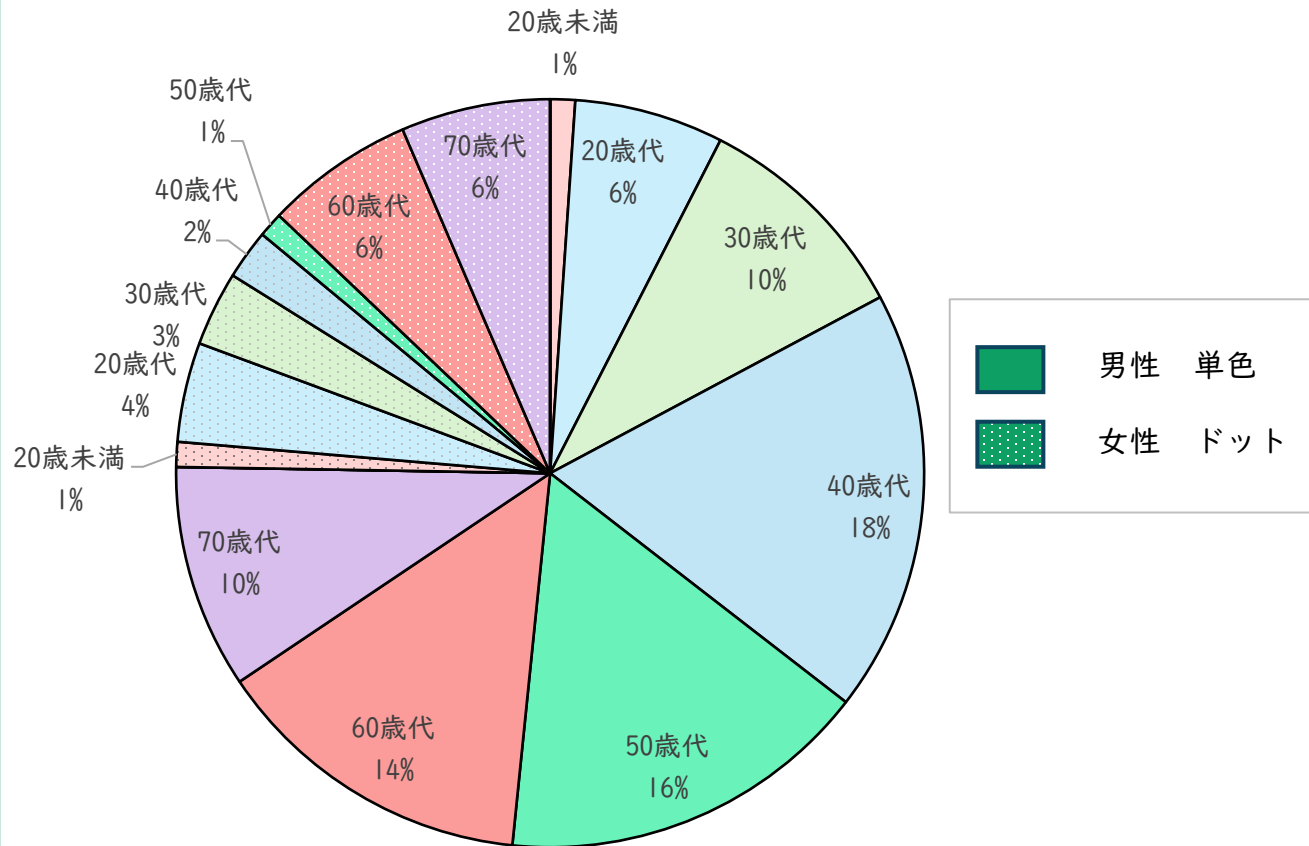


	令和5年	令和6年	増減
20歳未満	0	1	＋1
20代	0	1	＋1
30代	0	0	－
40代	1	0	－1
50代	0	1	＋1
60代	2	2	－
70代	1	3	＋2

2. 性別・年代別

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図7】浦添市の自殺者の性・年代別構成比



全体

割合が高い年代

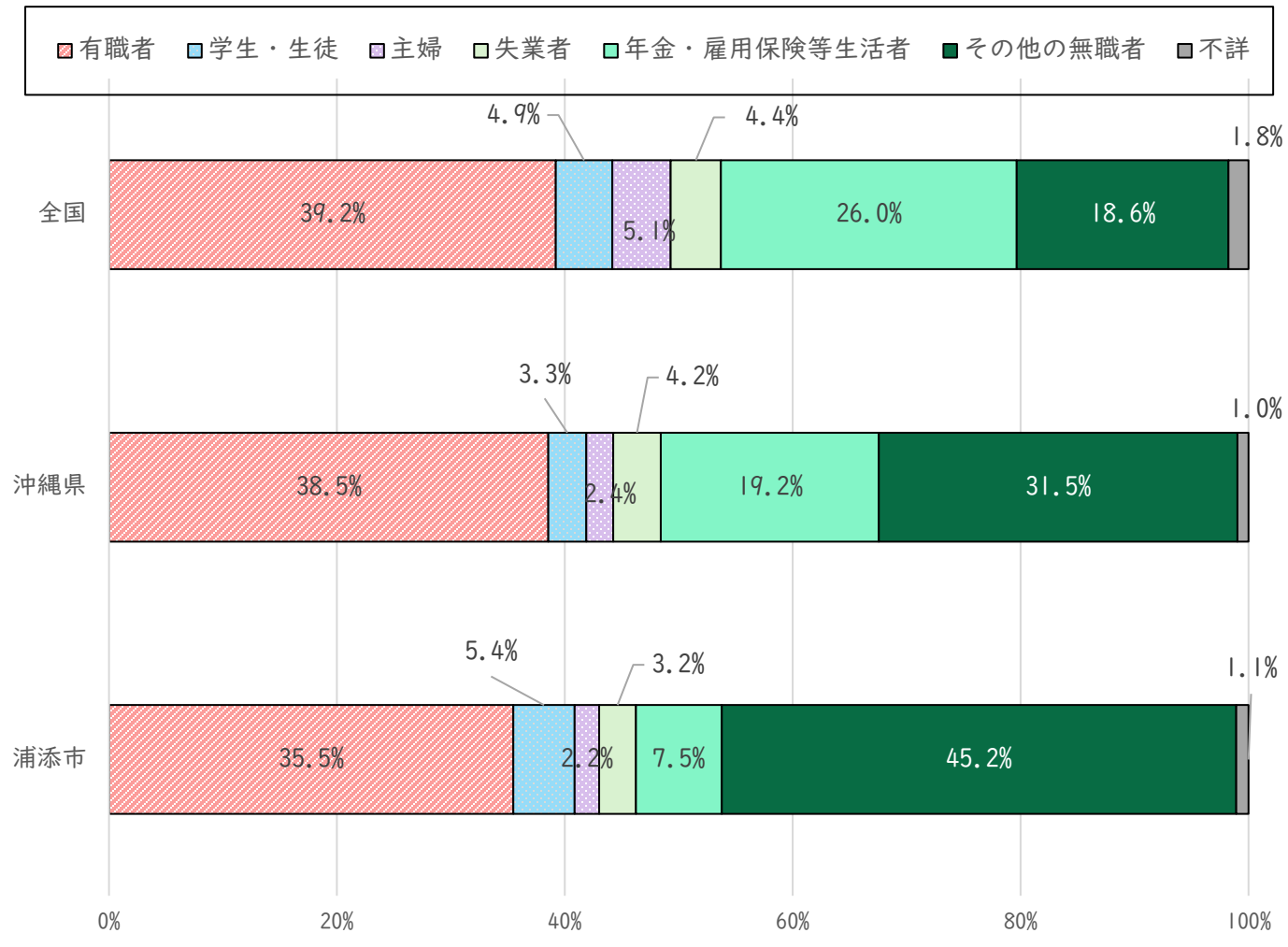
1. 40代男性 18%
2. 50代男性 16%
3. 60代男性 14%

市全体の年代別割合は、40～60代の男性がおよそ5割を占めている。

3. 職業

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図8】自殺者の職業別構成比（比較）



その他の無職者
45.2%

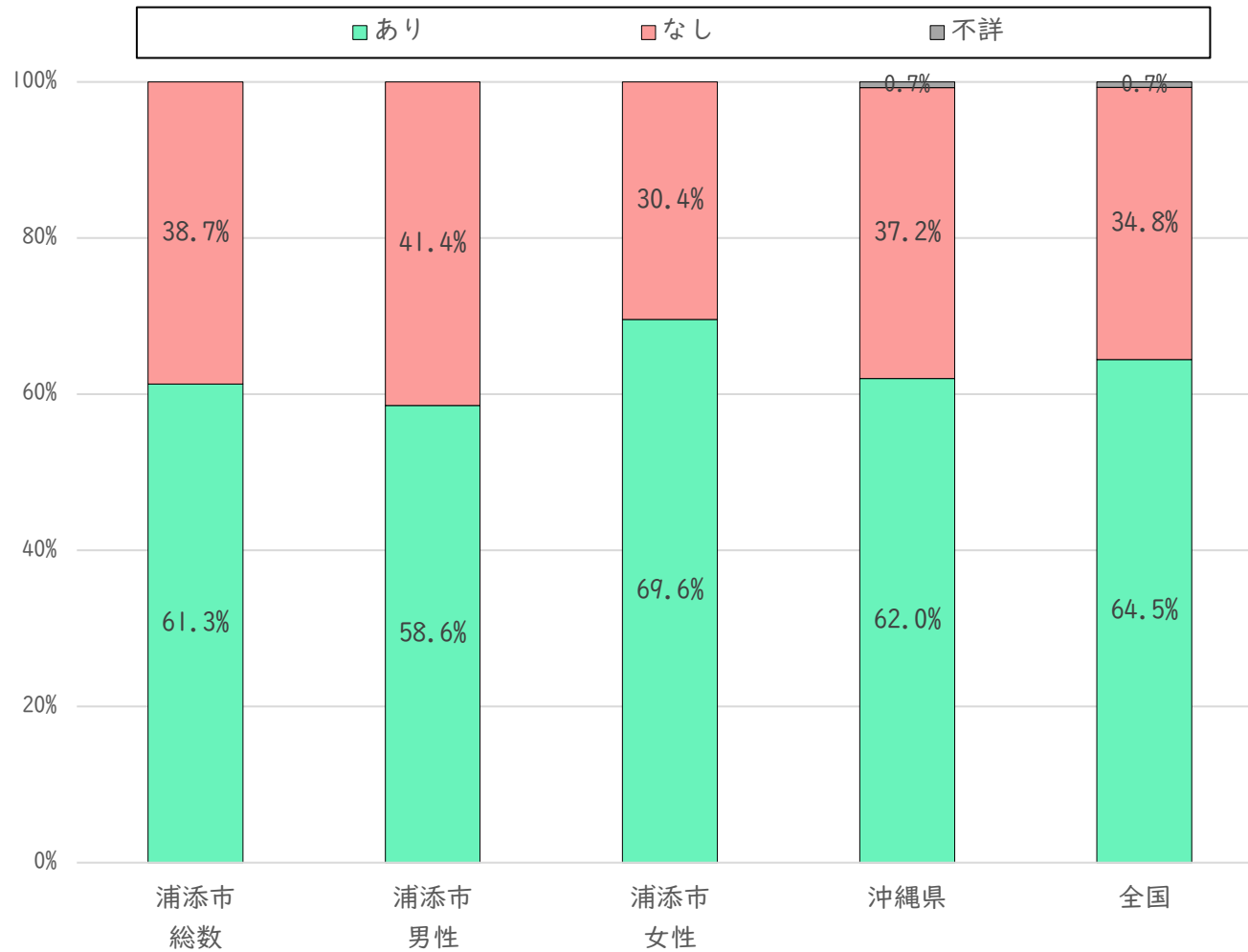
※その他の無職者には、主婦、失業者、年金・雇用保険等生活者以外のすべての無職者（利子・配当・家賃等生活者、ホームレス、その他の無職者）が含まれる。

職業別では、有職者が35.5%、学生が5.4%、無職者が58.0%となっている。
無職者のうち「その他の無職者」が45.2%を占めている。

4.同居人の有無

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図9】自殺者の同居人の有無別構成比



全体

同居人



あり 61.3%

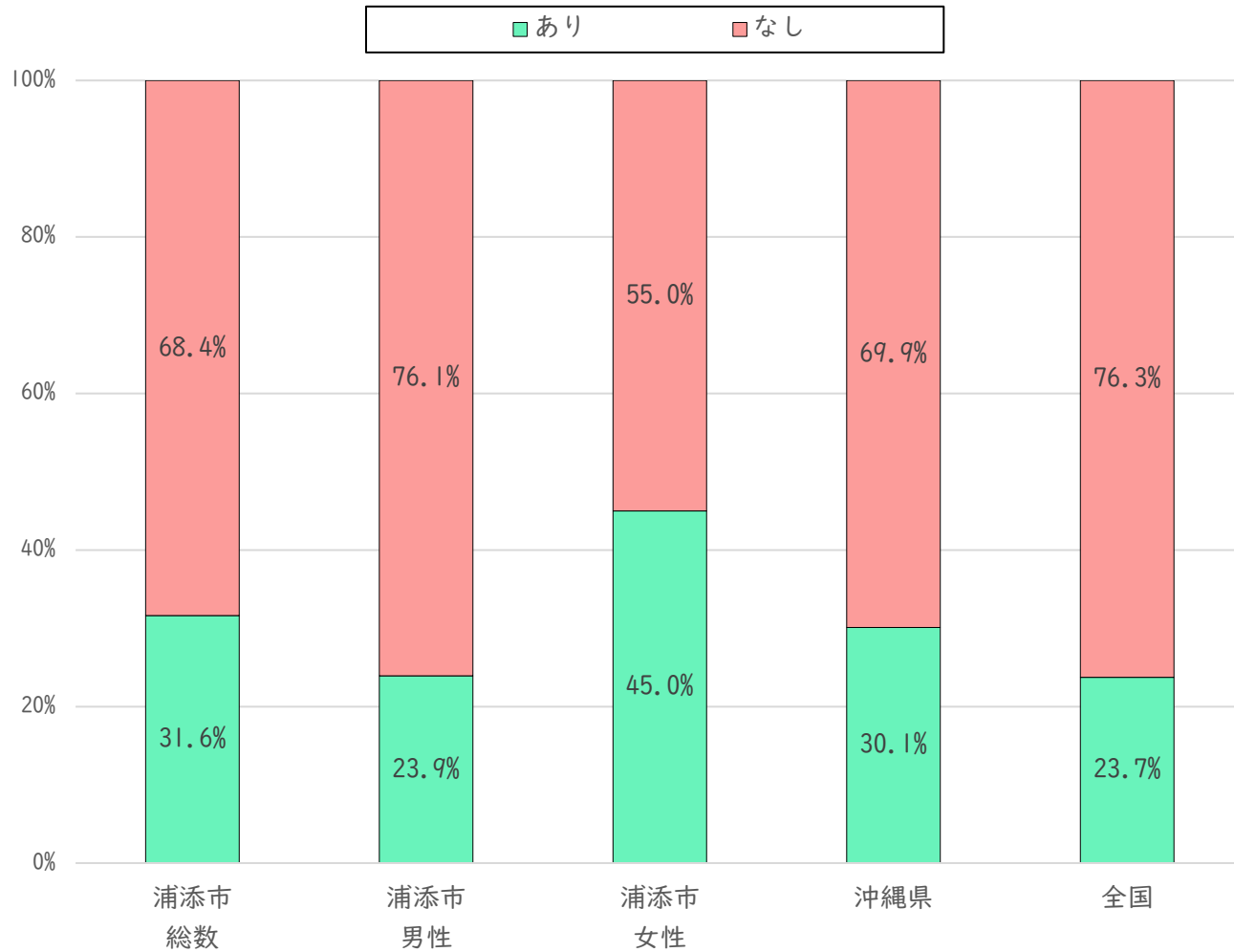
なし 38.7%

性別でみると、女性では『同居人あり』がおよそ7割と男性よりも高くなっている。

5. 自殺未遂歴の有無

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図10】自殺者の自殺未遂歴の有無別構成比（比較）



全体

自殺未遂歴

あり 31.6%

なし 68.4%

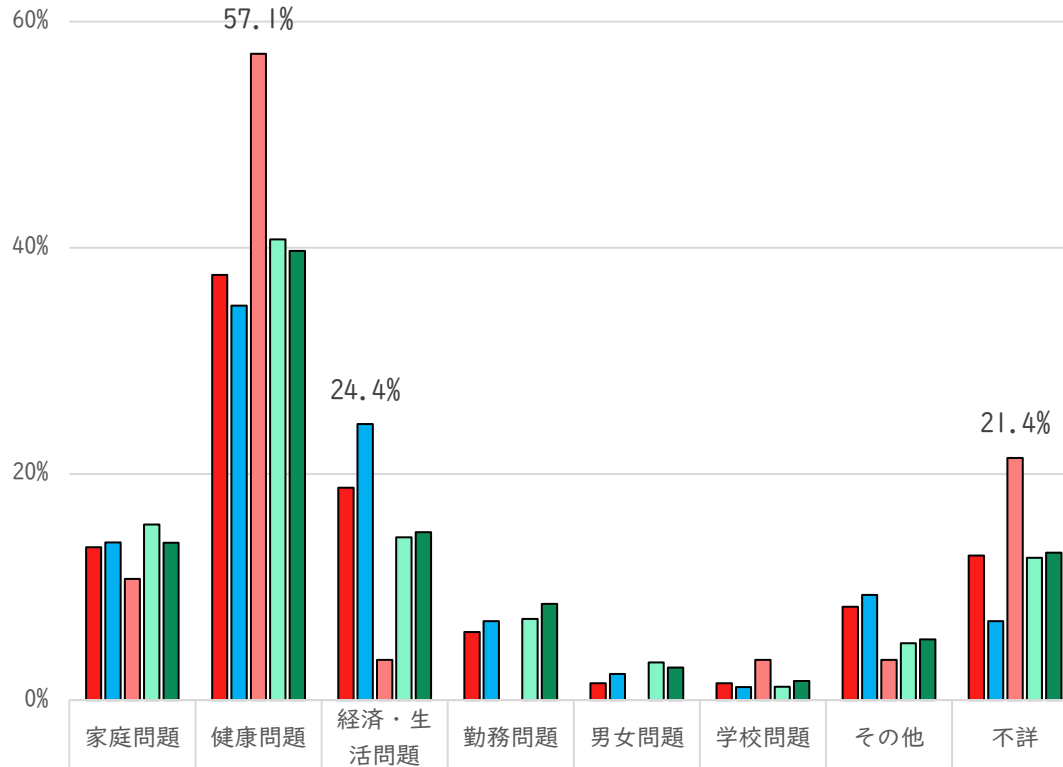


性別で見ると、女性では『自殺未遂歴あり』が45%と高く、男性では『自殺未遂歴なし』が7割以上を占めている。

6. 自殺の原因・動機

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」
*令和2年～令和6年の各年次確定値を合算

【図11】自殺の原因・動機の割合（比較）



浦添市 総数	13.5%	37.6%	18.8%	6.0%	1.5%	1.5%	8.3%	12.8%
浦添市 男性	14.0%	34.9%	24.4%	7.0%	2.3%	1.2%	9.3%	7.0%
浦添市 女性	10.7%	57.1%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	21.4%
沖縄県	15.5%			7.2%	3.3%	1.2%	5.0%	12.6%
全国	13.9%			8.5%	2.9%	1.7%	5.4%	13.0%



家庭問題

13.5%



男女問題

1.5%



健康問題

37.6%



学校問題

1.5%



経済・生活問題

18.8%



その他

8.3%



勤務問題

6.0%



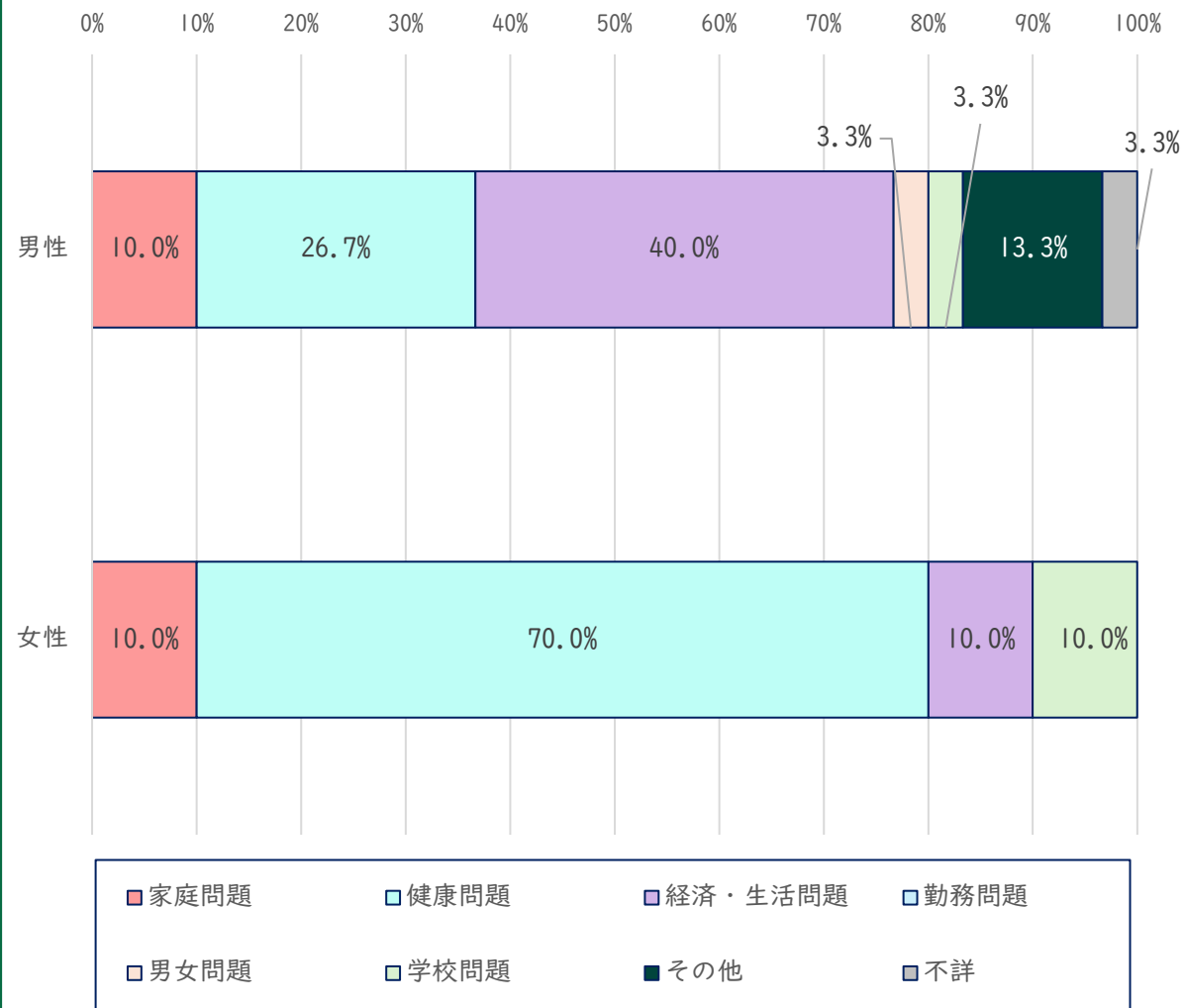
不詳

12.8%

6. 自殺の原因・動機

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

【図12】令和6年自殺の原因・動機の割合



男性



経済・生活問題
40.0%



健康問題
26.7%

女性



健康問題
70.0%



家庭問題
経済・生活問題
学校問題
10.0%

7. 浦添市の自殺の特徴

資料：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

まとめ

- 令和6年の自殺者は、国・県は前年より減少したが、浦添市は大きく増加している。
- 令和6年の自殺死亡率（**23.37**）は、平成23年（26.02）、平成21年（23.58）に次いで、統計開始以降3番目に高く、平成28年の自殺対策基本法改正以降、最も高い。
- 過去5年間の年代別構成比では、男性は40～60代（**64.3%**）、女性は60～70代（**52.2%**）の年代が半数以上を占めている。
- 令和6年の自殺者数は、男性は20代、30代、40代、60代、女性は20歳未満、20代、50代、70代で前年より増加している。
- 過去5年間の職業別構成比では、無職者（58.0%）が最も高く、そのうち「その他の無職者（主婦、失業者、年金・雇用保険等生活者以外のすべての無職者（利子・配当・家賃等生活者、ホームレス、その他の無職者）」（**45.2%**）が最も高い。
- 過去5年間の自殺未遂歴の有無別構成比では、男性（23.9%）に比べ、女性（45.0%）の方が、20ポイント以上高い。
- 過去5年間の自殺の原因・動機では、男女で差がみられる。
男性（1位：「健康問題」**34.9%**、2位：「経済・生活問題」**24.4%**、3位：「家庭問題」**14.0%**）
女性（1位：「健康問題」**57.1%**、2位：「不詳」**21.4%**、3位：「家庭問題」**10.7%**）